

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月12日

協議会名:東京都離島航空路地域協議会

評価対象事業名:離島航空路における地域公共交通確保維持事業(離島航空路運航費等補助事業)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新中央航空株式会社	調布～大島間を1日2～3往復運航	東京都実施の東京宝島事業に協賛し、機体のロゴラッピングを継続して行っているほか、各島商工会等の主催で都内で実施された「東京諸島アンテナショップ」に協賛出展し、イメージ向上と認知拡大を図っている。 【乗務員の養成について】 R1.5月の機長5名副操縦士5名の体制から、人事異動と採用により訓練生を増員し、R4.5月からはH30.5月以降の機長7、副操縦士7の体制に回復した。 R5.11月時点では機長8、副操縦士7の体制となっている。	A 天候等による欠航はあったものの、事業は概ね適切に実施された。	A 年間の目標運航回数1,572回に対して、R5.4～R5.11月までの実績は988回であった。欠航状況は、天候不良68回、機材繰り6回の計74回。	運航乗務員数(機長)の維持に努め、計画的な乗員養成を実施する。 就航率の維持及び搭乗率の向上を図る。 (離島住民運賃割引による運賃低廉化事業の継続実施)
新中央航空株式会社	調布～新島間を1日2～4往復運航	東京都実施の東京宝島事業に協賛し、機体のロゴラッピングを継続して行っているほか、各島商工会等の主催で都内で実施された「東京諸島アンテナショップ」に協賛出展し、イメージ向上と認知拡大を図っている。 【乗務員の養成について】 R1.5月の機長5名副操縦士5名の体制から、人事異動と採用により訓練生を増員し、R4.5月からはH30.5月以降の機長7、副操縦士7の体制に回復した。 R5.11月時点では機長8、副操縦士7の体制となっている。	A 天候等による欠航はあったものの、事業は概ね適切に実施された。	A 年間の目標運航回数2,928回に対して、R5.4～R5.11月までの実績は1,807回であった。欠航状況は、天候不良100回、機材繰り18回、機材故障3回の計121回。	運航乗務員数(機長)の維持に努め、計画的な乗員養成を実施する。 就航率の維持及び搭乗率の向上を図る。 (離島住民運賃割引による運賃低廉化事業の継続実施)
新中央航空株式会社	調布～神津島間を1日2～3往復運航	東京都実施の東京宝島事業に協賛し、機体のロゴラッピングを継続して行っているほか、各島商工会等の主催で都内で実施された「東京諸島アンテナショップ」に協賛出展し、イメージ向上と認知拡大を図っている。 【乗務員の養成について】 R1.5月の機長5名副操縦士5名の体制から、人事異動と採用により訓練生を増員し、R4.5月からはH30.5月以降の機長7、副操縦士7の体制に回復した。 R5.11月時点では機長8、副操縦士7の体制となっている。	A 天候等による欠航はあったものの、事業は概ね適切に実施された。	A 年間の目標運航回数2,196回に対して、R5.4～R5.11月までの実績は1,314回であった。欠航状況は、天候不良124回、機材繰り10回の計134回。	運航乗務員数(機長)の維持に努め、計画的な乗員養成を実施する。 就航率の維持及び搭乗率の向上を図る。 (離島住民運賃割引による運賃低廉化事業の継続実施)
新中央航空株式会社	調布～三宅島間を1日2～3往復運航	東京都実施の東京宝島事業に協賛し、機体のロゴラッピングを継続して行っているほか、各島商工会等の主催で都内で実施された「東京諸島アンテナショップ」に協賛出展し、イメージ向上と認知拡大を図っている。 【乗務員の養成について】 R1.5月の機長5名副操縦士5名の体制から、人事異動と採用により訓練生を増員し、R4.5月からはH30.5月以降の機長7、副操縦士7の体制に回復した。 R5.11月時点では機長8、副操縦士7の体制となっている。	A 天候等による欠航はあったものの、事業は概ね適切に実施された。	A 年間の目標運航回数2,196回に対して、R5.4～R5.11月までの実績は1,362回であった。欠航状況は、天候不良84回、機材繰り8回、機材故障2回の計94回。	運航乗務員数(機長)の維持に努め、計画的な乗員養成を実施する。 就航率の維持及び搭乗率の向上を図る。 (離島住民運賃割引による運賃低廉化事業の継続実施)